

卒業生からのメッセージ

今回メッセージを寄せてくださったのは、34 年間、小中学校で教員生活を終え、現在、ふくおかまちづくり協議会の職員として福岡公民館に勤務される杉江良基さんです。紹介するのは国語科の大野光也先生です。杉江さんは大野光也先生や定時制の土本倫代先生と同級生です。

<中津高校の思い出 軟式野球部青森国体優勝 背番号14>

昭和 52 年(1977 年)高校 2 年の 5 月から中津高校軟式野球部の快進撃が始まった。春の県大会東濃予選2試合を勝ち、県大会に出場。県大会では 4 連勝して優勝。6 月の東海大会は 1 回戦を勝ったものの雨で中止となる。中津高 3 年は、例年 6 月の東海大会で引退することになっていた

ので、本来なら先輩は無傷のまま引退となるが、「負けるまでやりたい」という思いで、野球を続けることになる。7 月の県大会は、4 連勝で優勝。8 月の東海大会も 3 連勝で優勝。中津高校軟式野球部創立以来初の全国大会出場となる。私の背番号は17。県大会、東海大会にはベンチ入りしたものの全国大会は、ベンチ入りが 16 人だったため、スタンドからの応援。全国高等学校軟式野球大会は、大阪の藤井寺球場で行われ、1 回戦は不戦勝で、2 回戦は島根県の隠岐高校と戦う。中津高校から大型バス 4 台が応援に駆けつける。吹奏楽部の応援もあり大変盛り上がる。試合は 4-5 で、9 回サヨナラ負け。5 月以降の公式戦は 14 勝 1 敗となり、先輩の引退が決まる。ところが、9 月高野連から学校に連絡がくる。青森国体(全国で10校)に出場予定の1校が出場辞退となり、代わりに中津高校が青森国体に推薦される。青森国体は 10 月なので進学や就職活動に影響があり、3 年生部員の何人かは引退。青森国体のベンチ入りは14人。私は背番号14でベンチと入りなる。青森国体の期間中に 2 年生は広島への修学旅行があり、私たち 2 年生 7 人は修学旅行に行くことができなかった。東京から青森までは寝台列車。中津川から青森まで丸 2 日。バット・ボールケース・ヘルメットは自分たちで運ぶ。いよいよ青森国体。1 回戦、2 回戦と勝ち進む。準決勝で先発レギュラーの先輩の目に自打球が当たり病院へ。外野手の補欠は私一人なので、ワンストライクから代打として初登場。その打席は三振。そのまま外野手の守備につく。この試合 1-0 で勝ち、決勝に進む。決勝の相手は、夏に負けた隠岐高校。夏の悔しさをこの国体で。マンガの世界のような展開。試合は 7-3 で勝ち、全国大会初優勝を飾る。修学旅行に行けなかった私たち 2 年生のために十和田湖見学。帰りの中津川駅前では、市民・在校生の出迎えがあり、バスで市内パレ



県大会優勝後の記念写真

ード。44 年経っても忘れなれない思い出。(その時のメンバーの一人は、現在も野球に携わり、現名城大学硬式野球部の監督。)

◇高校野球（9時・黒石市運動公園野球場）
 ▽軟式準決勝
 中津（岐阜）
 ○○1○○○○○1
 ○○○○○○○○○○
 小国（熊本）
 （中）木戸一系井川
 （小）藤堂 安藤
 ▽同決勝
 隅岐（島根）
 ○○○○○○○3○13
 20100013x17
 中津（岐阜）
 （隠）木谷、佐藤一酒井
 （中）木戸、吉村一系井川、稻熊

新聞切り抜き



十和田湖見学



国体優勝後の記念写真

＜大学時代の思い出 なんでも経験・・・学んだことは、何処かで生きる＞

大学受験は、共通一次テスト初年度でした。マークシートによる一次試験があり、二次試験は一度だけ。一次テストの結果を元に、志願先を決めた。「地元で教員になりたい」と考え、国立の教員養成大学を希望。小中学校時代から地歴に興味があり、夏休みの研究に取り組んだり、地図帳を愛読したりしていた。社会科の教員を目指し受験したが、社会系の学科はすべて落ち、合格したのは理系の地学科。社会系の私立が合格していたので、悩んだけれど、国立の方が親への負担も少ないと思い、理系の地学科に進学。小学校時代にアポロ11号の月面着陸をテレビで見たり、大阪万博で「月の石」を見学したり、中学校時代は学校のクラブ活動の時間に「天文クラブ」や「豆科学者養成クラブ」に所属したりしていて、理系に興味がないわけではなかったことも地学科に進学した理由。でも、高校で、「生物」や「数Ⅲ」を学んでいなかったので、大学では専門の授業に苦勞した。高校では部活は軟式野球だったけれど、大学のサークルでは準硬式野球部に属した。



大学祭「みこし行列」



また、高校時代の「旭陵祭」での文化祭の取り組みや体育祭「北軍オリジナル応援歌」を経験したことで、大学でも大学祭の取り組みをしたり、オリジナルの曲を作ったりと仲間と共に活動する喜びを感じた。大学祭の取り組みでは、全国の大学と交流した。その当時、移動は夜行列車。学割を使用し、できるだけ安く移動した。夜行列車の魅力は宿泊費を浮かせられること。他にも、中学・高校時代にクラスキャンプをしたが、大学でもクラスキャンプをした。アルバイトでは、地学科なので、日本気象協会のバイトを紹介してもらい、天気予報に関わる仕事ができたり、新聞の天気欄の記事を書いたりした。家庭教師も小・中・高校生といろんな学年の子ども達を指導できた。地学の専門の授業では、地質調査で出掛けたり、地震の観測実験を行ったりした。卒論は「瀬戸層群」で、中津川市や恵那市が調査地域で、地元を深く学ぶことができた。大学4年間で、経験したことすべてが、教員として力の糧になったことは間違いない。一人でできることではなく、仲間と共にできることを学んだ大学時代だった。自分が経験したこと・学んだことすべてが、何処かで活きる。「人生に無駄はない。」



乗鞍岳登山



準硬式野球の試合

<34年間の教員生活>

大学卒業後、恵那西中学校を皮切りに、蛭川小学校・福岡中学校・高山小学校・苗木小学校・高山小学校・蛭川小学校・落合小学校に勤務。34年間の教員生活で29年間担任を持ち教員生活を送る。恵那市・中津川市の教え子の数は502人。中学3年生・小学6年生を受け持つことが多く、卒業生の数は、中学校175人・小学校241人。

中学校勤務では、ソフトボール部の顧問として、勤務した2校で県大会出場、また、それぞれの中学校では文化祭・体育祭あり、その指導では、自分自身の経験が活きた覚えがあります。また、教科は理科で、実験・観察を通して、様々な事象を生徒と共に学んできました。



黒ジャージ・サングラス

小学校勤務では、体験学習として、キャンプ・合宿・自然の家などの自然体験活動、メダカ・チャボ・やぎ・蚕などの飼育活動もやってきました。「努力は裏切らない」の言葉通り、体育の授業では、跳び箱 4 段・二重跳び十回・水泳25mなど、こつをつかめば、みんなができることがたくさんありました。遠足では、苗木城跡・夜明けの森・恵那峡大井ダム・さるとび・ニツ森山頂上など、地域の特徴的な場所を選んで行きました。



福岡ローマン溪谷キャンプ場



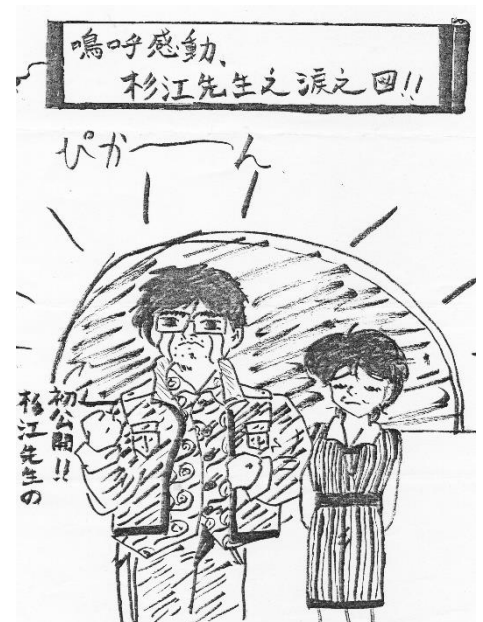
やぎの飼育(メリーくん)



水泳25mの練習



卒業式 卒業生からの黒板アート



卒業式 卒業生からのメッセージ

～子ども達に体当たりでぶつかった34年間でした。～

<34年間の教員退職後の新たな人生 今の仕事 公民館勤務 56 歳から>

教員退職後、ふくおかまちづくり協議会の職員として、中津川市から指定管理を受けた福岡公民館に勤務しています。今、5 年目です。公民館の主な仕事は、公民館施設利用者への手続きと使用料徴収・公民館講座の企画立案と実施・乳幼児親子や熟年の方々のサークル活動の支援・図書室業務・青少年健全育成推進市民会議福岡支部事務局などです。福岡公民館では、毎月公民館だよりを発行し、ホームページでも紹介しています。また、図書室まつりを開催し、子ども達への図書普及を目指しています。中津川市から常盤座も指定管理を受けているので、常盤座の施設利用者への手続きと使用料徴収、常盤座見学の方々への対応をしています。ふくおかまちづくり

協議会の職員として、「ふくおかふるさとまつり」・「ふくおか産業祭」・「ふくおかローマンウォーク」などの行事、「ローマン渓谷環境整備作業と付知川ベストリバー奉仕作業」、「リサイクルステーションの管理運営」を行ったり、ふくおか文化協会と連携して、「ふくおか文化展」・「ふくおか芸能祭」を行ったりしています。

34 年間の教員生活を活かして、ニツ森ふれあいクラブ事務局、福岡中学校区 PTA 家庭教育学級事務局に携わり、子ども達の成長や保護者の交流に関わっています。また、夏休み子ども講座として、ペルセウス流星群の観察会を開催したり、付知川で恐竜時代からの石を採集したり、科学工作教室を行ったりしています。また、「ふくおかの自然・歴史」や「ふくおかの偉人」の公民館講座を開講し、私自身が、先人の残した文献を学習し、整理して、講座生に教えています。ネット検索では見つからない地域限定な歴史的事実です。知れば知るほどおもしろいです。

野球少年が、地歴が好きな少年が、理科系もきらいではなかった少年が、今は、自分が学んできたすべてのことを、地域の人達に返しています。福岡に生まれ育ち、この地域で教員生活を送り、最後に、生まれ育った福岡の地で、まちづくりができる喜びは、この上ないものです。人生 100 年先は長いけれど、まだまだ、やりたいことがたくさん。昨年還暦を迎えました。人生それぞれ。こんな人生もありかな



子ども科学工作教室



付知川で探そう恐竜時代の石



ふくおかローマンウォーク



ふくおかふるさとまつり 花火